

カダヤシの食性や習性に着目した 効果的な捕獲トラップの開発

明石北高等学校 自然科学科

◎ 2 年 藤井大河、小野浩太郎、木村咲月、篠田怜美、島田樹歩

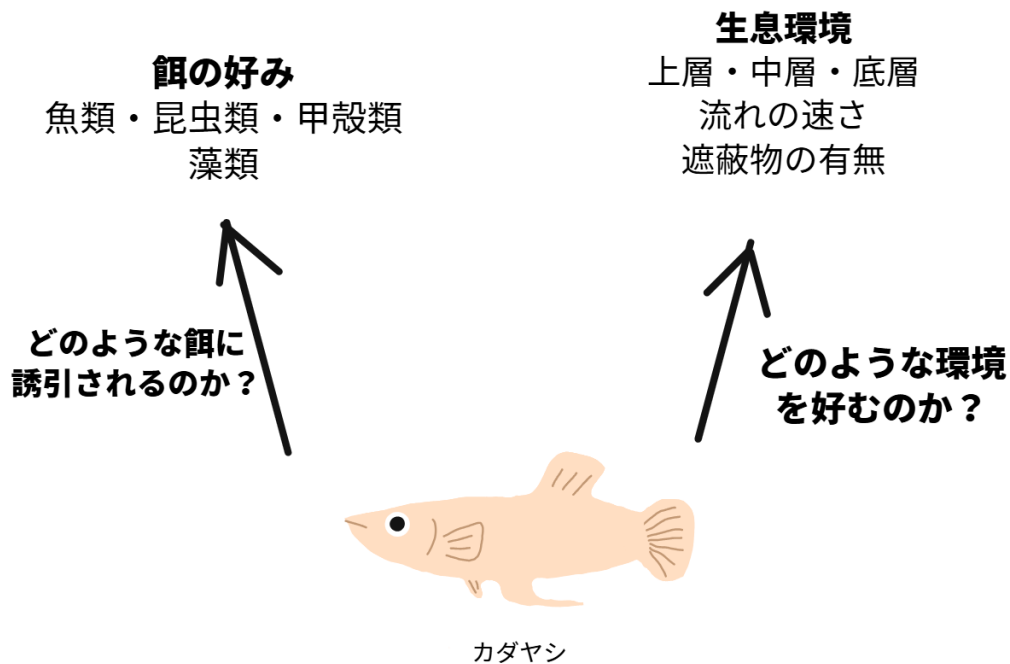
キーワード

カダヤシ、メダカ、食性、誘引、トラップ



研究概要

カダヤシ (*Gambusia affinis*) は世界の侵略的外来種ワースト 100 および日本の侵略的外来種ワースト 100 にも認定されている。環境に対する強い適応力で年々分布を広げており、世界的にも問題となっている外来生物である。また、メダカをはじめとした、在来種の小型魚を駆逐し、絶滅に追い込む可能性もあるため、対策が必要である。そこで、カダヤシを効率よく駆除するために、トラップを用いて捕獲する方法に着目した。しかし、カダヤシの具体的な食性は明らかになっていない。本研究ではカダヤシの行動特性や好みを調べ、より効率的なトラップを開発すべく研究を行った。



アピールポイント

先行研究により、カダヤシはアミノ酸を含む匂いに誘引されやすいことが明らかになっているが (大庭ら 2020)、メダカとの反応の違いを比較した研究や、その知見を活用したトラップの開発は行われていない。本研究により、メダカへの影響を最小限に抑えつつ、カダヤシを効率的に捕獲できる手法の確立につながり、外来種による生態系への影響を軽減できる可能性がある。